

釧路湿原を題材とした小学校向け資料のとりまとめ案について

小学校の理科、社会科において教員が活用することが可能な学習資料のとりまとめに向けて、第7回環境教育ワーキンググループ（以下、ワーキングと略）より議論を行ってきた。前回の第9回ワーキングにおいては、具体的なとりまとめ案を元に議論を行い、とりまとめの方向性ととも、課題等も明らかとなった。これらを踏まえて、前回ワーキングにおいてとりまとめ方法についてアイデア出しを行った3つのテーマのうち、「地層」、「食物連鎖」を一例とした学習資料のとりまとめ案を作成した。

資料2-1、資料2-2、資料2-3参照

1) とりまとめの方向性

- ・教科書の各単元で取り扱っている内容に対して、釧路湿原を中心とした地域の学習素材（主として写真や動画等のデータ）を教員に提供する。
- ・各単元について、釧路湿原や周辺地域に特徴的な話題をトピックとして紹介する。
- ・トピックについては、専門家に協力を仰いでとりまとめ、協力団体等を明記する
- ・教科書の単元を意識した学習素材の提供を行うが、活用方法等については教員に委ねる。

2) 学習素材提供の方法

- ・ワーキングホームページ上に単元ごとの学習素材を紹介するページを作成する。
- ・学習素材の紹介ページには、授業で使用する場合を想定した解像度の高い写真・動画データ等をダウンロードできるようにする。

3) ホームページ掲載後の学校における活用促進

- ・教育委員会の協力を仰ぎ、多様な手法にて学校にPRを行う。
- ・釧路湿原を題材とした学習に取り組んでいる実践校については、可能な限り訪問してデータを配布し、活用促進を行う。
- ・実践校を中心にヒアリングを行い、学習素材の提供方法の修正や情報の充実を図る。
- ・学習素材の活用事例等については、ホームページ上で紹介していく。

4) 今後のスケジュール

- ・8月7日：第10回ワーキング：とりまとめの方向性の確定、他テーマのアイデア出し
- ・12月中旬まで：今年度ホームページに掲載する学習素材（※）のとりまとめ
- ・1月中旬：第11回ワーキング：ホームページ掲載内容の検討、PR方法等検討
- ・2月下旬まで：ホームページへの掲載、学校へ随時PR実施

※第10回ワーキングで例示した「地層」「食物連鎖」の他、「流れる水のはたらき」（釧路川）の単元の学習素材をとりまとめる。